

荒れた田んぼ、畑を再活用！ 放牧で楽しく経営



水田を活用した放牧(長崎県S市)

電気牧柵、水飲み場、スタンション(牛を捕まえるときの施設)等の簡単な機材で放牧できます。



荒廃地を活用した放牧(大分県B市)

	削減可能な割合
労働時間	40 ~ 70 %
コスト	20 ~ 50 %

放牧が
なかったら、牛飼い
やめてたなあ。



お助けします

- ・水田の場合、転作助成金が受け取れます。
 - ・電牧などは強い農業づくり交付金で購入できます。
- また、中山間地域であれば、「中山間地域直接支払」でも購入できます。

小さな田んぼでも私たちがきれいにするよ



電気牧柵を使うと脱柵しないし、畦畔をこわさないよ

こんなメリットが！

- ・家畜飼養の労力が軽減され、経費も削減できます。
- ・イノシシ等の獣害が減少したとの報告もあります。
- ・景観が保全され、地域の活性化につながります。

新たな取組も！

- ・行政や地域の協力を得て、牛を飼ったことのない農家の方も放牧を始めています(試験場などが牛を貸し出す制度を利用)。

放牧頭数を調整すれば、環境への影響はほとんどないよ

1haあたり、1~3頭程度が放牧の目安です。

地域の理解を得て、積極的に放牧に取り組みましょう。

電気牧柵で水田に放牧してみよう！！



イタリアンライグラスを播種



放牧中

耕作放棄地だって、こんなに変わります。



放牧前



放牧後

少しでも興味をお持ちになったら・・・
九州農政局または、お住まいの県、市町村、農協等にお気軽にお問い合わせください。

牛さんも地産地消！

九州地域飼料増産行動会議

事務局：九州農政局 生産経営流通部 畜産課

〒860-8527 熊本市二の丸1-2 TEL096-353-3561（代）